

一次救命処置 (BLS)

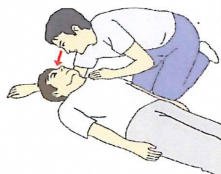
心肺蘇生(CPR)とAED

「人が倒れている」 近づくその前に

- 周囲の安全を確認する(二次事故防止)
- 傷病者の状態を確認する(大出血の有無など)

1 反応(意識)を確認する

- 肩を叩いて、声をかける

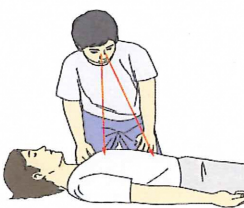


2 協力者を求める

- 119番通報とAEDの手配をお願いする

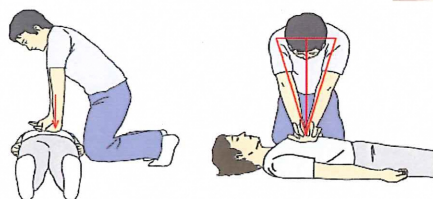
3 呼吸を確認する

- 10秒以上かけないで、胸とお腹をみて、普段どおりの呼吸があるかを確認する
- ※死戦期呼吸を普段どおりの呼吸と間違えないようにする
- ※判断に自信が持てないときは胸骨圧迫を開始する



4 胸骨圧迫を30回

- 「胸骨の下半分※」を手掌基部で垂直に押し下げる
- ※目安は胸の真ん中
- 圧迫の深さは「約5cm」
- 圧迫の速さは「1分間あたり100~120回」
- 圧迫は「強く・速く・絶え間なく」を意識する

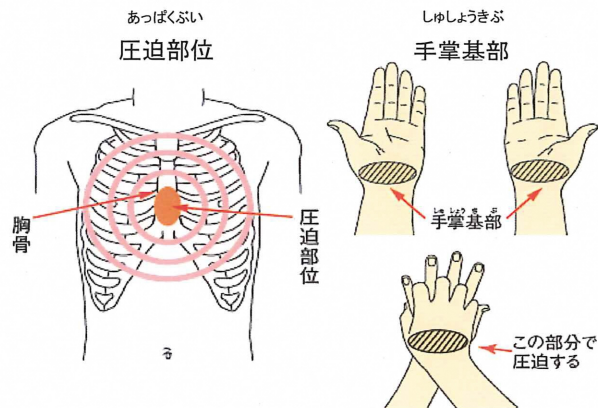


6 メッセージに従ってAEDを使う

※AEDのメッセージは、タイプにより少し違う場合がある

日本赤十字社では、一次救命処置の動画をホームページで公開しています。

- ホームページ
<http://www.jrc.or.jp/study/>
- 右のQRコードから携帯電話でもご覧になれます。



5

できれば、人工呼吸を2回

- 気道を確認する(頭部を後ろに下げて、あご先を上げる)
- 鼻をつまんで口をおおい、胸が上がるのがわかるまで吹き込む
- 1回の吹き込みに約1秒かける
- 吹き込んだら、つまんだ手と口を離す



※ 胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す

※ 人工呼吸ができない場合は、胸骨圧迫のみを継続する

STEP 1

電源を入れる

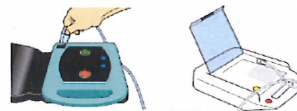


STEP 2

「電極パッドを装着してください」



- イラストのとおり貼る
- 電極パッドは、密着させる
- 水ぬれや、はり・ぬり薬などは取り除く
- コネクターがあるものは差し込む



STEP 5

胸骨圧迫と人工呼吸のくり返し



- 直ちに
- 4 胸骨圧迫
- 5 人工呼吸

STEP 4

「電気ショックが必要です」



「電気ショックは不要です」

STEP 3

「心電図を解析中です」

- 傷病者から離れる



STEP 6

以降もAEDのメッセージに従う

STEP 7

医師または、救急隊に引き継ぐ

- AEDの電源は切らず、電極パッドは着けたままにする



【役割分担】

- A救助者(発見者)
B協力者・救助者(AED手配)
C協力者(119通報)
D救急隊

【手 当 の 順 序】

【 観 察 と 確 認 の た め の 呼 称 】

